

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：医学系】

大 学 名	京都大学	整理番号	F - 1
拠点のプログラム名称	病態解明を目指す基礎医学研究拠点		
中核となる専攻等名	医学研究科分子医学系専攻		
事業推進担当者	(リ-ダ-)本庶 佑 外19名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>[目的] 免疫異常・がん・老化の病態解明とその臨床応用可能性の追求。 [具体的計画] 1) 本研究科で独自に発見した分子を中心とした遺伝子変異マウスとその交配による多重遺伝子変異疾患モデル動物を用いた、基礎臨床双方向からの効率的かつ総合的研究拠点形成。 2) 医学の究極の目的である臨床医学 (診断・治療) への展開 (探索医療) に繋げるための情報の収集発信。 3) 基礎研究から常に臨床医学研究への展開を志向する医の理念を備えた医学研究者の育成。 [重要性] 1) 複数の分子異常の複合作用による病態解明へ向けて、病気の治療・診断・予防に貢献する基礎的な情報の集積を行なうことが世界の医学研究の新しい動向。 2) 疾患モデル動物病態の高度解析技術に基づいた免疫異常・がん・老化の解明がもたらす学術的社会的意義は極めて高い。 [期待される成果] 1) 免疫・がん・老化の領域で複数の遺伝子異常の相互作用による新しい病態機構の解明。 2) 探索医療センターにおける臨床応用開発への展開。 3) 基礎と臨床を繋なぎ、探索医療をはじめとした次世代の医学研究の推進役となれる倫理性・社会性をそなえた医学研究者の育成。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>免疫、がん、老化の分野の研究実績の優れた研究者から構成されており、分子生物学、遺伝学、細胞生物学等の最新の手法を用いて、上記疾患の病態解明を目指している。これまでの実績は高く評価され、今後の発展が期待される。</p>			